

学 年	高校 2 年	必修・選択の別	選択
教科名	任意設置科目	単 位 数	2 単位
科目名	Sustainable Society Research	担 当 者	坂下淳一、佐藤友亮
講 座	1 講座		

**科目のねらい（目標）**

1年生で身につけた、グローバルな社会課題や環境問題、環境問題に対する国際的な取り組みや環境先進国・地域の政策についての知識、課題解決のための思考力、リサーチやコミュニケーション、プレゼンテーションのスキルをさらに発展させていくことを目的とした講座である。フィールドワークの事前学習として、欧米の先進事例について体系的な知識を構築し、問題意識を育むことを目指す。また、政策提言のための身近な具体的実践を行ったり、身近な問題について改善に取り組む。

「正解のない問題」に対して、異なる教科の教員が担当するアクティブ・ラーニングを取り入れた授業によって幅広い視野を養い、また同志社大学政策学部との連携、国内外の連携校の生徒との授業、国内外の専門家の特別授業や質疑等を通して、様々な知識や価値観との出会いを楽しみ、社会課題の解決に前向きに取り組むことのできるグローバル・リーダーの育成を目標とする。

**学習の進め方**

以下の3つの内容を中心に進める。

- 【1】ドイツやデンマークを中心に、ヨーロッパの街づくりや環境問題とその政策・対策について学び、一昨年に作成したリサーチブックを改訂する。さらに、一部の生徒により、ドイツなどでの研修を行う。
- 【2】問題解決の方法論について学ぶ。
- 【3】学校や地域に具体的に反映できる対策を考え、提言・実行する。

**生徒の学習上の留意点**

- ・知識を得ることはもちろんのことであるが、知識を体系的に理解し、世界、日本、地域や学校というそれぞれのレベルの課題に対して、自らの思考によって問題解決の検討をする姿勢を持つこと。
- ・まずは、個人の知識獲得と状況の理解を必要とする。その上で、グループによる検討を経て、理解度を高める。（いわゆる、単なる調べ学習にならないようにすること）
- ・また、単なる思いつきではなく、論理に基づいた独創的なデバイスの運用や政策を提言する姿勢を常に持つこと。

**評価方法**

基本的な知識、授業に臨む積極性、テーマに対する調査・思考力、提出物を中心に評価を行う。学期ごとに試験を行う。

**使用教材**

テーマによって、担当者が随時準備する。

**授業計画**

学期	授業内容	各単元のねらい
1	(1) ドイツやデンマークなどの街づくりや環境問題について  (2) 問題解決の方法論について	ドイツやデンマークを中心に、街づくりや環境問題と、その政策や対策について、カテゴリー分けを行い、調査する。  問題解決の方法論を実際の社会問題をテーマに学ぶ。
2	(1) ドイツやデンマークなどの街づくりや環境問題について  (2) 取り組むべき身近な問題を決定し、検討する。	環境問題や街づくりについてのそれぞれのカテゴリーの状況や諸政策をまとめて共有する。 その中で、実際に研修すべきエリアや機関を限定していく。 問題解決の方法論を元に、解決策を立案する。 具体的な問題検討を行うことにより、社会の複雑さを学ぶ。
3	(1) ドイツやデンマークなどの街づくりや環境問題について	日本とドイツなどの欧米諸国の政策や対策を比較しながら、問題点や疑問点をあげる。 駐日の海外諸機関などへ質問を行う、あるいは研修を行うことにより、思考をより深める。 ドイツを中心とした現地研修を行うための準備を行う。

